

結核は昔の病気ではありません

9月24日～30日は結核予防週間です

結核は、今でも国内で年間14,000人以上の新しい患者が発生し、約2,000人が命を落としている日本の主要な感染症です。

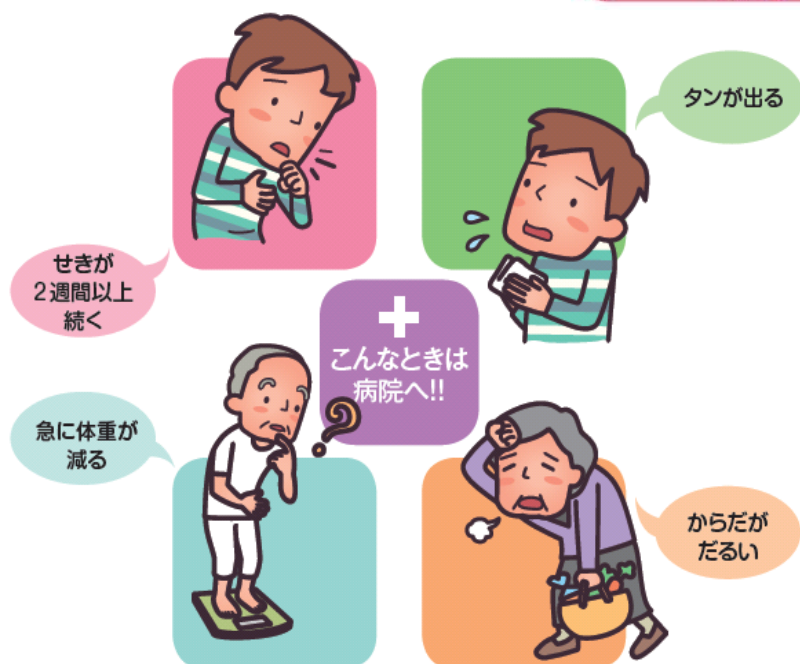
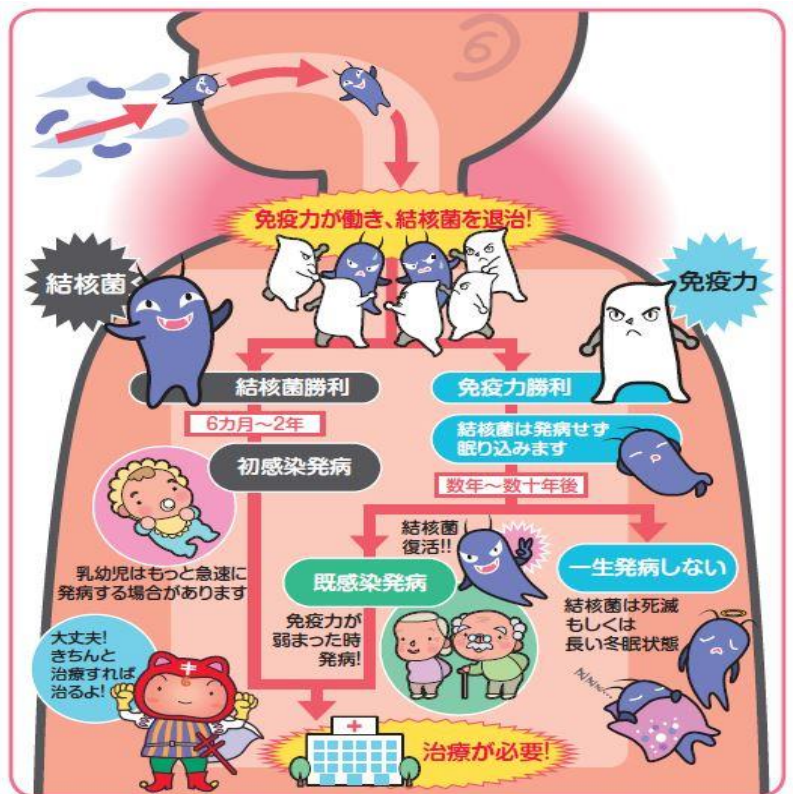
北播磨圏域でも令和2年には、26人の新しい患者が発生しています。

結核はどんな病気？

咳やくしゃみで空気中に結核菌が漂い、それを吸い込むことによって感染します。

人間の体には結核菌に負けない抵抗力があり、結核菌が入り込んででもすぐに病気になるとは限りません。

糖尿病などの病気や加齢により抵抗力が弱まると、肺の奥に潜んでいた結核菌が活動しはじめ、発病します。



せき・たん・熱が出るなど風邪によく似た症状が現れます。

せき、たんなどが2週間以上続くようなら要注意です。

早めに医療機関を受診しましょう。

* 高齢者では、せき・たん目立たずに、発熱や食欲不振・体重減少のみの場合が多く見られます。

最近の結核の特徴は…

● 若者、働き盛りの人の発見の遅れ

- ・アルバイト、派遣社員などで、健診機会のない方
- ・職場健診で異常を指摘されたにもかかわらず精密検査を受けない方
- ・症状を風邪と思い込んで受診しない方

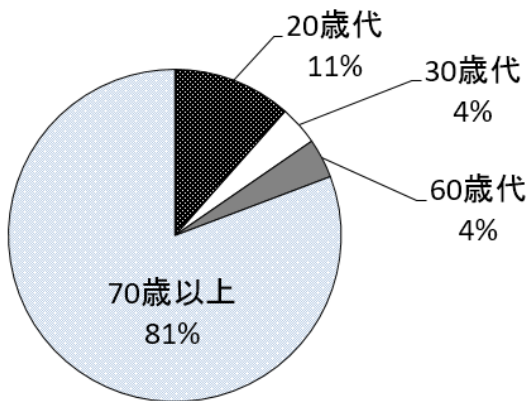
● 外国人（労働者等）の割合が増加

- ・結核患者が多いとされる地域から入国された方

● 発病者が高齢化

- ・若いころに結核に感染した方が抵抗力の低下に伴い発病
- (70歳以上の発病者が約6割)**

年齢別割合(令和2年)——北播磨圏域



- 結核と診断されても、6ヶ月から9ヶ月間毎日複数の薬をきちんと飲めば治ります。

職員の健康を守る（定期健診）

快適な職場づくり
生産性の向上
経営の強化

**発見が遅れると、
家族や職場の同僚など
周りの方々が感染・発病
する可能性があります。**

予防法は？

- 長引くせきなど**気になる症状**があれば、**ただちに医療機関へ！**（早期発見）
- **年に一度は胸部エックス線検査**などの定期健診を受けましょう。（早期発見）
- 乳幼児は生後5か月を過ぎたら**早めにBCG接種**を受けましょう。（免疫付与）
- 健康管理に気を付けて、病原体への**抵抗力を高めましょう**。（からだづくり）

結核に関するお問い合わせ・ご相談

兵庫県加東健康福祉事務所（加東保健所）健康管理課

TEL 0795-42-9436